

「仲間とともに成長した2学期」

教頭 保坂 泰司

本日、第2学期終業式を終了しました。子どもたちは、担任から手渡された通知票「きらめき」を見ながら今学期を振り返ることで、3学期への意欲を高めていました。

今月の2日(金)に「校内音楽会」、3日(土)には「143周年記念校内音楽会(公開)」を行いました。子どもたちはこの日のために練習に励み、曲に気持ちを乗せながら歌うことでその成果をしっかりと発揮できました。1年生の体を存分に動かしながら歌った「ソラシドマーチ」、2年生の自作の楽器を使った「虫の声」、音楽会トップバッターとして場を盛り上げてくれた3年生の「たいようのサンバ」、4年生のいろいろな声の一つになった「Voices」、さすが5、6年生、迫



力ある演奏で聴衆を圧倒した合同合奏「ドラゴンクエスト セッション」等、どれも素晴らしく印象に残るものでした。また、翌日4日(日)には、本校の吹奏楽部がさいたま市文化センターで行われた「さいたま市小学校管楽器連盟演奏発表会」に出場し、素晴らしい演奏を披露してくれました。

さて、今学期も普段の授業はもとより、運動会やおおぎりスマイルまつり、校内マラソン大会、校内音楽会等の行事も大きな事故もなくスムーズに行うことができました。子どもたちは、これらの練習や準備を通して「自分から進んで」、「自分に責任をもって」いろいろなことに取り組めるようになりました。例えば、授業では、背筋を伸ばして椅子に座り、まっすぐに手を挙げて発言する姿が多く見られるようになりました。清掃の時間は、「どうしたら時間内に担当場所をきれいにできるか」を考えながら取り組むことができるようになりました。集められたごみを(自分の担当場所以外のものでも)「自分から進んで」取り除く姿には感心させられました。縦割り活動では、高学年の子どもたちが下級生をしっかりまとめながら、めあての達成を目指して取り組む中で、子どもたちは互いに相手を尊重し、話し合いを行うことで異学年同士の絆も生まれました。その結果、何かを成し遂げた時の達成感、充実感を十分に味わうことができたと確信しています。

子どもたちは、今学期いろいろな経験をすることで「やる気」と「自分を高めようとする意欲」を今までよりも強くもてるようになったと感じます。これらをもつことが、学級→学年→学校全体をさらに高めていくことに繋がるものと信じております。

最後に、今年本校の教育活動全般にご理解、ご協力をいただきましたことに深く御礼を申し上げます。来年も、職員が一丸となり子どもたちのよりよい成長のために懸命に取り組んで参ります。皆様、よいお年をお迎えください。